

第 10 期定時株主総会 質疑応答の要旨

株主の皆様よりいただいた主なご質問（総会当日及び総会前）とその回答について、ご理解いただきやすいように表現の変更や加筆・修正を行った上で、記載しております。

【株主総会当日のご質問】

#	質問内容	回答要旨
1	中期目標の達成時期について	当社グループでは、半導体製造装置における前工程装置の市場規模及び市場成長を前提として中期目標を設定しております。ご質問いただいた「中期目標の達成時期」につきましては、半導体製造装置における前工程の装置市場が1,200億ドルに達すると想定される年度である、2027年3月期乃至2028年3月期と考えております。
2	株価について	当社では、株価を意識した経営を心掛けており、株主様並びに投資家及びアナリストの皆様のご期待や懸念を意識しております。今後も株主様をはじめとするステークホルダーの皆様との対話を重視し、当社の企業価値を適切に理解していただくための努力を続けてまいります。また、剰余金の配当につきましては、調整後当期利益ベースの連結配当性向20%から30%程度を目安に行っていくことに加えて、ネットキャッシュがプラスに転換した後は、さらなる株主還元と資本効率の向上に向け、有利子負債分割償還後フリー・キャッシュ・フローの70%程度に相当する金額を配当及び自己株式取得に充当することをめざしてまいります。
3	マーケットシェアについて	2024年（暦年）におけるバッチ成膜装置分野での当社のマーケットシェアは41%で世界第2位であり、バッチALD*1対応装置に限定すると当社のマーケットシェアは70%を超えており世界1位であります。
4	市場ボラティリティへの対策について	ご存知のように、半導体業界は変動の大きな業界ですが、当社グループでは、需要変動への耐性強化のため、特定のデバイス（DRAM/Logic/NAND等）に大きく依存することを避けた、バランスの取れたデバイスポ

		ートフォリオを構築し、事業展開をしていくことで市場のボラティリティに対応しております。
5	現預金減少の理由について	2025年3月期の現預金が2024年3月期と比べて大きく減少している理由は、自己株式の取得、砺波事業所の建設及び借入金のリファイナンスに係る前倒し返済等によるものであります。しかしながら、運転資金としての十分なキャッシュは手元に確保しており、今後の事業運営に問題はございません。
6	中国市場への依存リスクについて	2025年3月期の中国向け売上比率は、中国での旺盛な投資や中国以外の国地域における投資抑制等により相対的には40%台と高かったと認識しております。過度に特定の国地域に依存することは、昨今の国際情勢を踏まえるとリスクがあると考えております。今後、世界各国の先端デバイス向け投資が本格的に回復することに併せて、中国向け売上比率は相対的には30%程度まで低下する見通しです。
7	ROE向上及び株主還元について	2025年3月期のROEは18.8%であり、今後は、売上の拡大と共に、中期目標に掲げる25%以上をめざしてまいります。また、利益の拡大に伴い、株主還元を強化することについても検討してまいります。
8	関税政策の業績への影響について	当社装置の基本的な取引条件に基づきますと、当社装置は生産拠点のある日本又は韓国での引渡しとなり、関税はお客様のご負担となりますため、関税に関する当社業績への影響は限定的です。しかしながら、お客様のコストアップにより、投資計画が見直されるといった間接影響もあり得ますため、状況を注視すると共に、お客様との緊密なコミュニケーションを通じた需要変動等への迅速な対応を行ってまいります。
9	米国での事業展開について	当社グループでは、米国は今後も引き続き重要な市場の一つと認識しており、今まで以上に積極的に事業を展開していくための取組みの一環として、米国内に新たにデモセンターを設置し、より米国のお客様へ当社製品の良さをご理解いただき、採用につながっていくよう活動してまいります。

【株主総会前のご質問】

#	質問内容	回答要旨
1	当社の株価が低迷していること及び利益率が低いことの理由について	<p>当社では、様々なリスクを想定しながら、事業環境を見据えた経営判断に努め、売上と利益の拡大を追求するとともに、当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示し、ステークホルダーの皆様と積極的に対話を行うことで市場からの評価を高め、株価の改善に繋がりたいと考えております。</p> <p>また、研究開発投資を重点的に実施する等新製品の開発を進めており、半導体市況も2027年3月期以降回復基調に移行するとみられることから、当社が強みを持つ先端デバイス向け装置の売上拡大を見込んでおります。中長期的には、付加価値の高いバッチALD^{*1}対応装置新製品の売上拡大や、利益率が高いトリートメント装置の売上比率の向上等により、さらなる利益率の向上に取り組んでまいります。</p>
2	株主様を対象とした、工場見学会開催の企画の有無について	<p>当社事業について、ご関心をお持ちいただき有難うございます。当社では、株主の皆さまに当社の事業や製品をご理解いただくための取組みは非常に重要であると認識しております。現在のところ、株主様向けの工場見学会は実施しておりませんが、今後の株主様との対話の在り方の一つとして、工場見学の実施も含めて前向きに検討してまいります。</p>

*1 当社グループでは、複数のガスをサイクリックに供給する工程を伴い、原子層レベルで成膜する手法を「ALD」と呼んでいます。

以上